



山上みのる 地域レポート

- 大切なものを守りたい -

創刊号

ペンギン通信 No.1



2011年2月

山上みのる後援会事務所
府中市舟町3-9-18-102
Email:yamagami.229@nifty.com
URL: http://yamagami.a9.jp/



けやきじい

昔々から府中のことを見守り続けている物知りばあじいさん。







伝えたいことや 伝えらないうち

知ってほしい府中

わたがそ子一ツいろいろ学んでいくうちに、花が咲く予定。将来の夢は民主党党首(笑)!!



こたねちゃん

 <p>ペンを先生たちで塗った学校もあるぞうじゃ。こたねちゃんとうしが今いるこの学校もPTA やおやじの会に頼むぞうじゃ……。</p> <p>府中ってお金持ちだと思ってたー!! けいばいじょーもあるし、企業もたくさんあるしー……</p>	<p>ある小学校で……</p> <p>この学校おしいがん 暗くないですか?</p>   <p>おや 出ないよお? Kotane</p> <p>これは塗装がはげたり、くあんだしているからじやあ……。</p>
<p>いや、使い方の工夫がたりんのじやろ……。昨年は美術館で1億円の絵画を購入してあるんじやから。</p>  <p>え! そうなんですか? それって変!!</p>	<p>少しはキレイにしてよー</p>  <p>なんでも創立以来何十年も、塗装工事をしておらんぞうじゃ。</p> 

教育の質の向上と教育環境の整備を!

小学校を何校か回って気づくことは、きれいで設備も整っている学校もありますが、「これが、本当に府中の小学校なんだろうか……」ペンキのはがれ、くすみで教室がずいぶん暗く感じ、床のリノリウムもはがれ、お世辞にも、いい教育環境とは言えません。

「意外に学校予算が少ないですね」

他市から転任されてきた先生が、府中市に対する印象の違いを口にします。

一方では、「ケヤキじい」と「こたねちゃん」の会話にもあるように、昨年、一億円を投じ、絵画を購入しています。

私自身、美術館にも行きますし、文化の重要性も理解しているつもりですが、学校の現状を見る限り、優先順位は見えてきません。

私は、教育・子育てが、何よりも優先されるべきだと考えます。未来を担う子どもたちのために教育予算を増額し、教育の質の向上と教育環境の整備を図るべきです。

データで見る公教育 公財政教育支出の伸率

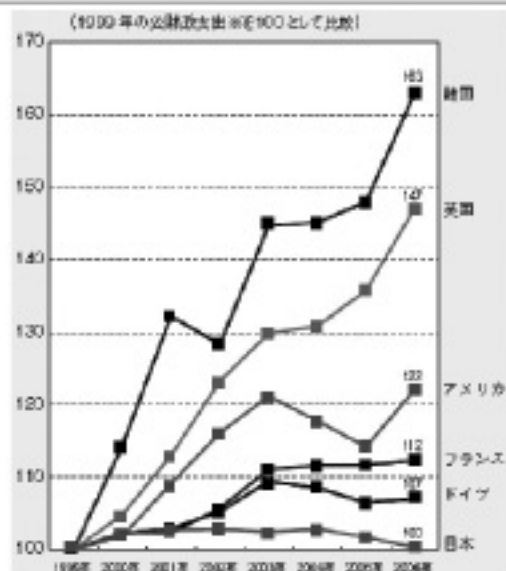
～日本の伸び率0で、
どこまで広がる？韓国との差～

右のグラフは、1999年を100とした時の教育支出を比較したものです。ご覧の通り、2001年から教育費が減少、1999年当時の水準逆戻り。伸び率0です。

ちなみに、お隣の韓国では、1.63倍の伸び率。

公財政教育支出の対GDP比にいたっては、OECD加盟28か国中27番目で、下から2番目という低い水準。

平成21年度文部科学白書より



もっとさむい？府中の現状

府中市の教育予算が、削減されています。
「貧乏な周辺の市でも、教育費は、減らさないのに、

なぜ？」との声が教育現場から上がっています。教育費を減らしてまで、まだ、箱もの行政を続けるつもりですか？将来を犠牲にしていると、必ず、つけはやってきます。

新しい学校の形 コミュニティ・スクール

教育現場の多くの課題に対して、国も都も市も、「誰かがやるだろう」と決めつけて、誰も何もしない。都に言えば、「市に聞いてくれ」と言われ、市に頼むと「国が予算をつけてくれない」と言って、たらい回し。

簡単に言うと、国と都が先生の給料を払い、府中市が学校を建てるため、責任の所在があいまいで、誰もが「事なかれ主義」に陥っています。

また、「教育は国家百年の大計」と言う割には、上のグラフのように、公的支出は、あまりにお粗末。

公費が少ない分、日本は家計費からの支出が、海外に比べ大きくなっています。つまり、公教育が物足りないのが、塾に通わせ、かろうじて学力を確保している現状が見えてきます。この不景気の中、塾にも通わせられないので、当然のことながら、学力は、低下します。不景気による学力低下の図式です。

公的支出を増やす努力もしなければなりません。それが同時に、将来を考え、学校の仕組みを変える必要に迫られています。

さまざまな環境の子が通う、公立校では、先生だけに頑張ってもらうには、もう、すでに限界にきています。これからは、地域の人々が積極的に関わる「地域で育てる地域の学校」が必要です。責任もとれない国や都や市に頼るのは、もう、やめましょう。

地域の人々がボランティアとして、授業の補助、環境整備、講師、さらには、運営にも深く関わっていくコミュニティ・スクール。三鷹市では、すでに全市的に小中一貫のコミュニティ・スクールが導入され、成果を上げています。

府中でも、モデル校の実施がすでに決定されていますが、私たち市民が積極的に関わりを持たなければ、成功しません。学校と一体となって取り組みましょう。千載一遇のチャンスです。

人こと — 山上みのる応援メッセージ —

山上さんは四中父親倶楽部の先輩であり、私にとって「頼れる兄貴」といった存在です。山上さんは、父親倶楽部で様々な活動に取り組まれていましたが、その中でも、四中での防災訓練の企画と実施に強いリーダーシップを発揮されました。今では、生徒、先生、保護者、地域住民、行政など多くの方々の協働のもと、四中で防災訓練が行われています。このように、山上さんには人を動かし、実行していく力があります。これからは府中の「頼れる兄貴」として府中の未来を託したいと思います。



北島 勉

・元四中 PTA 会長
・大学教授